

農繁期 レポート

令和7年 7月号

バードライフファーム

オーナー バードライフ
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 22.5アール
保証量 玄米1,013kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所株式会社

あつという間に梅雨が明け、水不足直行便に乗ってしまい、他の農家さんと水取り合戦の毎日です。

場所によりますが、ポンプアップで水管理して頑張っています。

しかしながら稲は順調に成長しておりますのでご安心下さい！もうすぐ出穂時期に入ります。

害虫防除作業や草刈りで、まだまだ手が抜けな仕事が山積みですが、生産部社員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

7月の作業内容等

1. 中干作業の切り上げ

中干作業はやりすぎると、土に大きなヒビが入り、根が切れたりしてかえって稲を痛める結果になります。そうなる前に適度に切り上げる必要があります。見極めが肝心になります。



中干を切り下げる直前の田んぼ

2. 水管理

中干後は、一定の間隔をで水を入れる(灌水)・水を抜く(断水)作業を繰り返すことで土に酸素を供給し、稲の成長を促します。水が不足している場合はポンプで少し離れた水源から供給する場合もあります。



ポンプで水を供給する田んぼ

3. 幼穂形成期

分けつから、穂の形成に生育が切り替わる時期です。穂肥(穂が出る直前に行う追肥)を与えるタイミングでもあります。穂肥には、稔実する粒を増加させ収量を増加させる目的があります。



場所によっては出穂しかけているところも

4. 除草と防除作業

天気が良いと稲も育っていますが、同時に雑草の勢いも増えています。それと同時に、いもち病(カビの一種)やカメムシ(穂を吸引する害虫)の防除も大切な作業になります。



除草作業で整えられた畔(あぜ)